

定 期 総 会

《あいさつ》

令和7年 5月30日

会 長 猪野 滋

こんばんは。

総会に多数お集りいただき、ありがとうございます。

また、御来賓として宮崎県総務課長様にもご臨席いただきありがとうございます。

先週5月21日の朝日新聞の全国版に、本県のTEAM HOKKENの取組が紹介されました。

根室高校のサークルを皮切りに4回シリーズの最後を本県がトリを務めさせていただきました。

この記事執筆された古畑さんという朝日新聞の記者さんからお話があり、電話での子どもたちへの取材インタビュー、そして、私への取材をとおして、今回の記事となったわけですね。

その家庭で私が感じたことは、あの紙面のために、本当に時間や労力を惜しまずに丁寧な取材をしていただいたということ、そしてその根底にある古畑さんのジャーナリストとしての本気さでした。

今年で終戦から80年となります。そのことは元島民が日ソ連に武力侵攻されてから80年がたったということとを意味します。

北方領土の問題は、いうまでもなく私たち主権を持つ日本国民の問題であり、人間の尊厳の問題でもあります。

先日の取材を受けながら、あらためて、その原点に立ち返り、人間として、そして日本国民として、本気になって取り組んでいかなければならないと感じたところです。

もちろん、宮崎県民会議、及び教育関係者会議でやれることには限りがあります。

だからこそ、本気の想いを持って、私たちができる範囲でできることをできるなかまとともに、取り組んでいくことが大事ではないかと、思うところです。

「北方領土に幸せを！」という想いを大切に全員で元島民の方々の幸せのために、様々な活動に取り組んでいきましょう。

本日はどうぞよろしくお願いたします。